

《新しく追加される特長》

1. 「スクエアボウルカウンター」

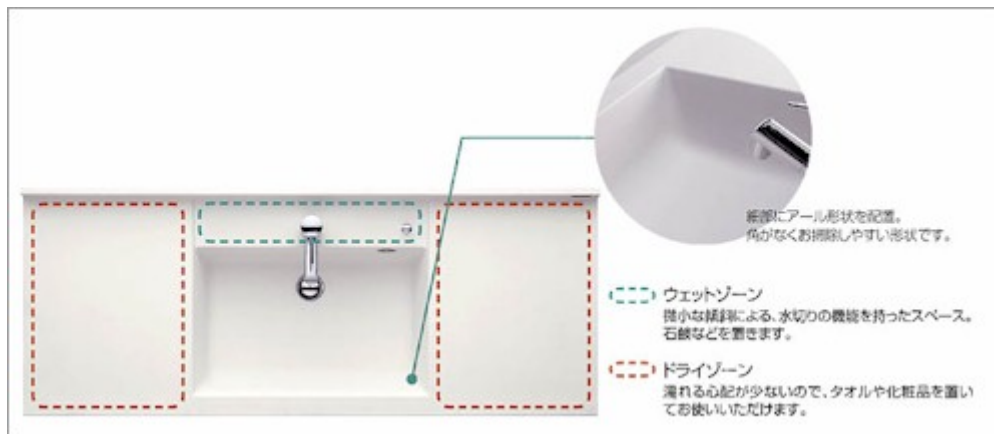
■デザイン性

- ・ 四角い形状のボウルとカウンターが一体成型となっています。シンプルで洗練された印象を演出します。



■機能性

- ・ 継ぎ目、角がなく掃除がしやすい
汚れが付きやすく悩みの種だった、ボウルとカウンターの境の継ぎ目がありません。また、ボウルの角のくぼみ部分を若干丸くしてあるので、汚れが溜まりにくく、また拭き取りやすくなっています。
- ・ “ウェットゾーン”と“ドライゾーン”
ボウル左右のカウンターとボウル奥部分に若干の段差を設け、低い部分は石鹸などの濡れたものを置く“ウェットゾーン”、高い部分は電化製品やタオルなどを置く“ドライゾーン”と使い分けることができるため衛生的です。
- ・ 使いやすさを考えた設計
平均的な顔の大きさ、身長、手を洗う・顔を洗うなどの使用方法などを考慮して必要寸法を割り出した設計です。



■施工性

- ・ 奥行きがスリムで、リフォームにも最適
従来のカウンターに比べ、奥行きを60mmスリムにした540mmとし、洗面空間が広々と使えるようになりました。空間に制限があることの多い、リフォームにも最適です。

2. 高級感のある扉裏収納型三面鏡やローチェストを用意

キャビネットと同じ木製の扉裏が全面収納になった三面鏡や、把手のないプッシュオープン式のキャビネット等、高級感のある収納が充実しました。

3. “ニースペースタイプ”と“ブラケット収納タイプ”の2タイプを新たに追加

ドレッサーとしても適した、座って使える“ニースペースタイプ”とカウンターだけのシンプルなブラケットタイプに小物が入る2段引き出しのみを加えた“ブラケット収納タイプ”を新たに追加し、全6タイプのラインナップになります。



4. 気になる湿気と臭いを吸収するキャビネット「こもらん蔵」を採用

当社のシステムキッチンでも好評の調湿・抑臭効果をもつ天然建材を、ボウル下のキャビネットに採用しています。